

平成 27 年 8 月 5 日

薬事・食品衛生審議会

食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会報告について

平成 26 年 12 月 15 日付け厚生労働省発食安 1215 第 1 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくフルミオキサジンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

フルミオキサジン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の新規の設定要請がなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：フルミオキサジン[Flumioxazin(ISO)]

(2) 用 途：除草剤

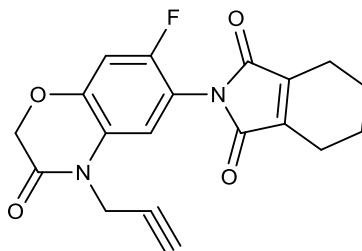
フェニルフタルイミド系除草剤である。光合成におけるクロロフィル生合成経路のプロトポルフィリノーゲンオキシダーゼを阻害することで、殺草活性を示すと考えられている。

(3) 化学名

N-(7-fluoro-3,4-dihydro-3-oxo-4-prop-2-ynyl-2*H*-1,4-benzoxazin-6-yl)-cyclohex-1-ene-1,2-dicarboximide (IUPAC)

2-[7-fluoro-3,4-dihydro-3-oxo-4-(2-propynyl)-2*H*-1,4-benzoxazin-6-yl]-4,5,6,7-tetrahydro-1*H*-isoindole-1,3(2*H*)-dione (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₁₉ H ₁₅ FN ₂ O ₄
分子量	354.33
水溶解度	1.79 ± 0.07 mg/L (25°C)
分配係数	log ₁₀ Pow = 2.55 (20°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、ホップに係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がされている。

（1）国内での使用方法

① 50%フルミ オキサジン顆粒水和剤

作物名	適用 雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量		本剤の 使用 回数	使用 方法	フルミオキサジン を含む 農薬の 総使用回 数
				薬量	希釈水量			
だいず えだまめ いんげんまめ べにばないんげん	一年生 広葉雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	砂壤土 ～埴土	5～10 g/10a	100 L/10a	1 回	全面 土壌 散布	1 回以内

② 1.2%フルミ オキサジン・12.0%グルホシネート顆粒水和剤

作物名	適用 雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法	フルミオキサジン を含む 農薬の 総使用回 数
りんご かんきつ ぶどう なし	一年生雑草	雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ただし、 収穫 21 日前まで	300～500 g/10a	100L/10a	3 回以内	雑草茎葉 散布	3 回以内
	多年生雑草		500～1000 g/10a				

(2) 海外での使用方法 (米国)

51%フルミオキサジン顆粒水和剤

作物名	使用目的	使用時期	フルミオキサジンの総使用量
小麦	広葉雑草の除草	発芽前 は種 2 日後まで	70 g ai/ha
	茎葉枯凋	収穫 10 日前まで	
とうもろこし	広葉雑草の除草	定植 14～30 日前まで	105 g ai/ha
豆類(種実)	広葉雑草の除草	豆の発芽前 は種 2 日後まで	70 g ai/ha
	茎葉枯凋	収穫 5 日前まで	105 g ai/ha
ばれいしょ さといも やまのいも しょうが	広葉雑草の除草	培土後もしくは覆土後	53 g ai/ha
かんしょ	広葉雑草の除草	植付前まで	105 g ai/ha
さとうきび	広葉雑草の除草	収穫 90 日前まで	420 g ai/ha
たまねぎ	広葉雑草の除草	収穫 45 日前まで	105 g ai/ha
にんにく	広葉雑草の除草	定植後 3 日以内	210 g ai/ha
仁果類	広葉雑草の除草	収穫 60 日前まで	840 g ai/ha
核果類	広葉雑草の除草	収穫 60 日前まで	840 g ai/ha
いちご	広葉雑草の除草	定植 30 日前まで	105 g/ha
ベリー類	広葉雑草の除草	収穫 7 日前まで	210～420 g ai/ha
綿実	広葉雑草の除草	収穫 60 日前まで	140 g/ha
ナッツ類	広葉雑草の除草	収穫 60 日前まで	210～420 g ai/ha
ホップ	広葉雑草の除草	ホップの休眠期 (1 月～3 月)	420 g ai/ha
	脇芽の抑制	収穫 30 日前まで	

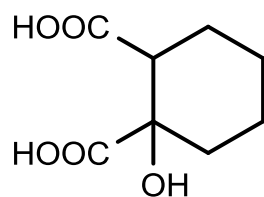
3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・フルミオキサジン
- ・1-hydroxy-1,2-cyclohexanedicarboxylic acid(略称 1-OH-HPA) (以下、代謝物 M20 という)

- ・代謝物 M20 の抱合体



代謝物 M20

② 分析法の概要

【国内】

フルミオキサジン

試料からアセトンで抽出し、C₁₈ カラム、シリカゲルカラム及び NH₂ カラムで精製した後、ガスクロマトグラフ (NPD) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) を用いて定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、ヘキサン・酢酸エチル (4 : 1) 混液に転溶した後、C₁₈ カラムで精製し、ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) を用いて定量する。

定量限界 : 0.005 ~ 0.01 ppm

代謝物 M20 及びその抱合体

試料に 2 mol/L 塩酸を加えて加熱し、代謝物 M20 抱合体を代謝物 M20 に加水分解した後、多孔性ケイソウ土カラムで精製し、LC-MS/MS を用いて定量する。

定量限界 : 0.005 ppm

【海外】

フルミオキサジン

試料からアセトン・水 (4:1) 混液で抽出し、ジクロロメタンに転溶する。ヘキサン・アセトニトリル分配後、フロリジルカラムで精製し、ガスクロマトグラフ (NPD) 又は GC-MS を用いて定量する。

定量限界 : 0.02 ppm

代謝物 M20 及びその抱合体

試料に 2.5 mol/L 塩酸を加えて加熱し、加水分解した後、多孔性ケイソウ土カラムで精製する。トリイソプロパノールアミン (TIPA) 及び硫酸ジメチルでメチル化した後、ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムで精製し、GC-MS を用いて定量する。

定量限界： 0.02 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2 を参照。

4. ADI の評価

食品安全基本法 (平成 15 年法律第 48 号) 第 24 条第 1 項第 1 号及び第 2 項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルミオキサジンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：1.8 mg/kg 体重/day (発がん性は認められなかった。)

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性／発がん性併合試験

(期間) 2 年間

安全係数：100

ADI：0.018 mg/kg 体重/day

5. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において小麦、だいず等に、カナダにおいてだいず、ぶどう等に、EU において小麦、ぶどう等に、豪州において米、小麦等に基準値が設定されている。

6. 基準値案

(1) 残留の規制対象

フルミオキサジンとする。

一部の作物残留試験において、代謝物 M20 及びその抱合体の分析が行われているが、定量限界未満であることから、代謝物 M20 及びその抱合体は残留の規制対象には含め

ないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質としてフルミオキサジン(親化合物のみ)を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI／ADI (%) ^{注)}
一般 (1 歳以上)	5.5
幼小児 (1～6 歳)	15.2
妊婦	6.0
高齢者 (65 歳以上)	5.3

注) 各食品の平均摂取量は、平成17年～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度(暫定基準)が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

フルミオキサジン作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量（ppm） ^{注1)} 【フルミオキサジン本体/代謝物M20】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
だいず (乾燥子実)	2	50%顆粒水和剤	10000倍土壌全面散布 100L/10a	1	130	圃場A：<0.005/<0.005
					119	圃場B：<0.005/<0.005
べにばないんげん (乾燥子実)	2	50%顆粒水和剤	10000倍土壌全面散布 100L/10a	1	109	圃場A：<0.01/-
					113	圃場B：<0.01/-
いんげんまめ (乾燥子実)	2	50%顆粒水和剤	10000倍土壌全面散布 100L/10a	1	90	圃場A：<0.01/-
					99	圃場B：<0.01/-
えだまめ (さや)	2	50%顆粒水和剤	10000倍土壌全面散布 100L/10a	1	69	圃場A：<0.01/-
					82	圃場B：<0.01/-
りんご (果実)	2	1.2%顆粒水和剤	100倍土壌全面散布 100L/10a	3	<i>1, 7, 14</i>	圃場A：<0.01/- (#) ^{注2)}
					<i>1, 8, 15</i>	圃場B：<0.01/- (#)
みかん (果肉)	2	1.2%顆粒水和剤	100倍土壌全面散布 100L/10a	3	<i>1, 7, 14</i>	圃場A：<0.01/- (#)
					<i>1, 8, 14</i>	圃場B：<0.01/- (#)
みかん (果皮)	2	1.2%顆粒水和剤	100倍土壌全面散布 100L/10a	3	<i>1, 7, 14</i>	圃場A：<0.02/- (#)
					<i>1, 8, 14</i>	圃場B：<0.02/- (#)
なつみかん (果実)	2	1.2%顆粒水和剤	100倍土壌全面散布 100L/10a	3	<i>1, 7, 15</i>	圃場A：<0.01/- (#)
					<i>1, 8, 15</i>	圃場B：<0.01/- (#)
ゆず (果実)	2	1.2%顆粒水和剤	100倍土壌全面散布 100L/10a	3	<i>1, 7, 15</i>	圃場A：<0.01/- (#)
					<i>1, 7, 14</i>	圃場B：<0.01/- (#)
日本なし (果実)	2	1.2%顆粒水和剤	100倍土壌全面散布 100L/10a	3	<i>1, 7, 14</i>	圃場A：<0.01/- (#)
					<i>1, 7, 13</i>	圃場B：<0.01/- (#)
ぶどう (果実)	2	1.2%顆粒水和剤	100倍土壌全面散布 100L/10a	3	<i>1, 7, 14</i>	圃場A：<0.01/- (#)
						圃場B：<0.01/- (#)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

フルミオキサジン作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【フルミオキサジン本体/代謝物M20】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
小麦 (玄麦)	20	51%顆粒水和剤	71 g ai/ha 散布	1	10	圃場A : 0.05/-
			71 g ai/ha 散布		3, 7, 10, 13	圃場B : 0.11/-
			72 g ai/ha 散布		10	圃場C : 0.08/-
			71 g ai/ha 散布		10	圃場D : 0.05/-
			72 g ai/ha 散布		11	圃場E : 0.11/-
			74 g ai/ha 散布		10	圃場F : 0.13/-
			71 g ai/ha 散布		10	圃場G : 0.23/-
			70 g ai/ha 散布		9	圃場H : 0.12/- (#) 注2)
			72 g ai/ha 散布		10	圃場I : 0.06/-
			72 g ai/ha 散布		10	圃場J : 0.07/-
			71 g ai/ha 散布		10	圃場K : 0.09/-
			72 g ai/ha 散布		10	圃場L : 0.10/-
			69 g ai/ha 散布		10	圃場M : 0.31/-
			72 g ai/ha 散布		9	圃場N : 0.13/- (#)
			72 g ai/ha 散布		9	圃場O : 0.05/- (#)
			74 g ai/ha 散布		10	圃場P : 0.10/-
			70 g ai/ha 散布		4, 7, 10, 13	圃場Q : 0.18(1回, 13日)/-
			72 g ai/ha 散布		11	圃場R : 0.10/- (#)
			71 g ai/ha 散布		10	圃場S : 0.05/-
			71 g ai/ha 散布		10	圃場T : 0.06/-
とうもろこし (乾燥子実)	21	51%顆粒水和剤	107 g ai/ha 定植前土壌処理	1	148	圃場A : <0.02/-
			107 g ai/ha 定植前土壌処理		171	圃場B : <0.02/-
			107 g ai/ha 定植前土壌処理		154	圃場C : <0.02/-
			104 g ai/ha 定植前土壌処理		135	圃場D : <0.02/-
			108 g ai/ha 定植前土壌処理		131	圃場E : <0.02/-
			105 g ai/ha 定植前土壌処理		158	圃場F : <0.02/-
			107 g ai/ha 定植前土壌処理		166	圃場G : <0.02/-
			106 g ai/ha 定植前土壌処理		138	圃場H : <0.02/-
			108 g ai/ha 定植前土壌処理		168	圃場I : <0.02/- (#)
			104 g ai/ha 定植前土壌処理		136	圃場J : <0.02/-
			106 g ai/ha 定植前土壌処理		155	圃場K : <0.02/-
			105 g ai/ha 定植前土壌処理		151	圃場L : <0.02/-
			106 g ai/ha 定植前土壌処理		156	圃場M : <0.02/-
			106 g ai/ha 定植前土壌処理		145	圃場N : <0.02/-
			106 g ai/ha 定植前土壌処理		155	圃場O : <0.02/-
			106 g ai/ha 定植前土壌処理		134	圃場P : <0.02/- (#)
			102 g ai/ha 定植前土壌処理		154	圃場Q : <0.02/-
			106 g ai/ha 定植前土壌処理		137	圃場R : <0.02/-
			101 g ai/ha 定植前土壌処理		156	圃場S : <0.02/-
			107 g ai/ha 定植前土壌処理		130	圃場T : <0.02/-
			107 g ai/ha 定植前土壌処理		165	圃場U : <0.02/-

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量（ppm） ^{注1)} 【フルミオキサジン本体/代謝物M20】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
いんげんまめ （乾燥子実）	11	51%顆粒水和剤	107 g ai/ha 散布	1	6	圃場A：＜0.02/－
			107 g ai/ha 散布		4	圃場B：＜0.02/－（#）
			106 g ai/ha 散布		4	圃場C：＜0.02/－（#）
			106 g ai/ha 散布		6	圃場D：0.04/－
			103 g ai/ha 散布		6	圃場E：0.05/－
			106 g ai/ha 散布		4	圃場F：0.02/－（#）
			104 g ai/ha 散布		5	圃場G：＜0.02/－
			108 g ai/ha 散布		4	圃場H：0.02/－（#）
			106 g ai/ha 散布		5	圃場I：0.02/－
			106 g ai/ha 散布		5	圃場J：＜0.02/－
			102 g ai/ha 散布		5	圃場K：0.02/－
えんどうまめ （乾燥子実）	13	51%顆粒水和剤	105 g ai/ha 散布	1	6	圃場A：0.02/－
			108 g ai/ha 散布		6	圃場B：0.03/－
			107 g ai/ha 散布		6	圃場C：＜0.02/－
			106 g ai/ha 散布		5	圃場D：＜0.02/－
			111 g ai/ha 散布		6	圃場E：＜0.02/－
			106 g ai/ha 散布		5	圃場F：＜0.02/－
			109 g ai/ha 散布		6	圃場G：＜0.02/－
			107 g ai/ha 散布		5	圃場H：＜0.02/－
			108 g ai/ha 散布		1, 3, 5, 7	圃場I：＜0.02/－
			109 g ai/ha 散布		4	圃場J：＜0.02/－（#）
			109 g ai/ha 散布		4	圃場K：0.02/－（#）
			112 g ai/ha 散布		5	圃場L：0.03/－
			108 g ai/ha 散布		5	圃場M：0.06/－
ばれいしょ （塊茎）	14	51%顆粒水和剤	132 g ai/ha 植付後土壌表面散布	1	105	圃場A：＜0.02/－（#）
			127 g ai/ha 植付後土壌表面散布		111	圃場B：＜0.02/－（#）
			138 g ai/ha 植付後土壌表面散布		62	圃場C：＜0.02/－（#）
			123 g ai/ha 植付後土壌表面散布		67	圃場D：＜0.02/－（#）
			140 g ai/ha 植付後土壌表面散布		101	圃場E：＜0.02/－（#）
			147 g ai/ha 植付後土壌表面散布		101	圃場F：＜0.02/－（#）
			148 g ai/ha 植付後土壌表面散布		92	圃場G：＜0.02/－（#）
			139 g ai/ha 植付後土壌表面散布		96	圃場H：＜0.02/－（#）
			139 g ai/ha 植付後土壌表面散布		91	圃場I：＜0.02/－（#）
			141 g ai/ha 植付後土壌表面散布		104	圃場J：＜0.02/－（#）
			138 g ai/ha 植付後土壌表面散布		118	圃場K：＜0.02/－（#）
			147 g ai/ha 植付後土壌表面散布		126	圃場L：＜0.02/－（#）
			141 g ai/ha 植付後土壌表面散布		126	圃場M：＜0.02/－（#）
			141 g ai/ha 植付後土壌表面散布		107	圃場N：＜0.02/－（#）
さとうきび （茎）	9	51%顆粒水和剤	424 g ai/ha 散布	1	89	圃場A：＜0.02/＜0.02（#）
			416 g ai/ha 散布		89	圃場B：0.03/＜0.02
			409 g ai/ha 散布		89	圃場C：0.03/＜0.02
			421 g ai/ha 散布		89	圃場D：＜0.02/＜0.02（#）
			423 g ai/ha 散布		91	圃場E：0.09/＜0.02
			415 g ai/ha 散布		90	圃場F：0.06/＜0.02
			408 g ai/ha 散布		90	圃場G：0.07/＜0.02
			421 g ai/ha 散布		90	圃場H：＜0.02/＜0.02
			417 g ai/ha 散布		90	圃場I：0.05/＜0.02

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【フルミオキサジン本体/代謝物M20】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
たまねぎ (鱗茎)	9	51%顆粒水和剤	総量 216 g ai/ha 散布	2	44	圃場A：<0.02/- (#)
			総量 212 g ai/ha 散布		42	圃場B：<0.02/- (#)
			総量 219 g ai/ha 散布		44	圃場C：<0.02/- (#)
			総量 210 g ai/ha 散布		42	圃場D：<0.02/- (#)
			総量 212 g ai/ha 散布		48	圃場E：<0.02/- (#)
			総量 216 g ai/ha 散布		43	圃場F：<0.02/- (#)
			総量 217 g ai/ha 散布		49	圃場G：<0.02/- (#)
			総量 224 g ai/ha 散布		44	圃場H：<0.02/- (#)
			総量 207 g ai/ha 散布		45	圃場I：<0.02/- (#)
りんご (果実)	12	41.5%SC	総量 859 g ai/ha 土壌表面散布	2	60	圃場A：<0.02/- (#)
			総量 861 g ai/ha 土壌表面散布		56	圃場B：<0.02/- (#)
			総量 861 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場C：<0.02/- (#)
			総量 886 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場D：<0.02/- (#)
			総量 879 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場E：<0.02/- (#)
			総量 863 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場F：<0.02/- (#)
		51%顆粒水和剤	総量 872 g ai/ha 土壌表面散布		61	圃場G：<0.02/-
			総量 874 g ai/ha 土壌表面散布		58	圃場H：<0.02/- (#)
			総量 863 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場I：<0.02/-
			総量 845 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場J：<0.02/-
			総量 849 g ai/ha 土壌表面散布		61	圃場K：<0.02/-
			総量 879 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場L：<0.02/-
なし (果実)	6	41.5%SC	総量 874 g ai/ha 土壌表面散布	2	60	圃場A：<0.02/- (#)
			総量 863 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場B：<0.02/- (#)
			総量 870 g ai/ha 土壌表面散布		59	圃場C：<0.02/- (#)
		51%顆粒水和剤	総量 869 g ai/ha 土壌表面散布		61	圃場D：<0.02/-
			総量 873 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場E：<0.02/-
			総量 853 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場F：<0.02/-
もも (果実)	9	41.5%SC	総量 872 g ai/ha 土壌表面散布	2	59	圃場A：<0.02/- (#)
			総量 855 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場B：<0.02/- (#)
			総量 855 g ai/ha 土壌表面散布		55	圃場C：<0.02/- (#)
			総量 865 g ai/ha 土壌表面散布		59	圃場D：<0.02/- (#)
			総量 882 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場E：<0.02/- (#)
		51%顆粒水和剤	総量 870 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場F：<0.02/-
			総量 870 g ai/ha 土壌表面散布		53	圃場G：<0.02/- (#)
			総量 867 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場H：<0.02/-
			総量 860 g ai/ha 土壌表面散布		59	圃場I：<0.02/- (#)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量（ppm） ^{注1)} 【フルミオキサジン本体/代謝物M20】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
すもも （果実）	6	41.5%SC	総量 867 g ai/ha 土壌表面散布	2	59	圃場A：＜0.02/－（＃）
			総量 875 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場B：＜0.02/－（＃）
			総量 855 g ai/ha 土壌表面散布		59	圃場C：＜0.02/－（＃）
			総量 860 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場D：＜0.02/－（＃）
			総量 855 g ai/ha 土壌表面散布		46, 53, 60, 68, 75	圃場E：＜0.02/－（＃）
		51%顆粒水和剤	総量 843 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場F：＜0.02/－
おうとう （果実）	6	41.5%SC	総量 855 g ai/ha 土壌表面散布	2	60	圃場A：＜0.02/－（＃）
			総量 860 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場B：＜0.02/－（＃）
			総量 860 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場C：＜0.02/－（＃）
			総量 845 g ai/ha 土壌表面散布		59	圃場D：＜0.02/－（＃）
			総量 848 g ai/ha 土壌表面散布		60	圃場E：＜0.02/－（＃）
			総量 852 g ai/ha 土壌表面散布		61	圃場F：＜0.02/－（＃）
いちご （果実）	8	51%顆粒水和剤	総量 108 g ai/ha 畦間土壌散布	1	1	圃場A：＜0.02/－（＃）
			総量 108 g ai/ha 畦間土壌散布		1	圃場B：＜0.02/－（＃）
			総量 108 g ai/ha 畦間土壌散布		2	圃場C：0.04/－（＃）
			総量 105 g ai/ha 畦間土壌散布		1	圃場D：0.04/－（＃）
			総量 106 g ai/ha 畦間土壌散布		1	圃場E：＜0.02/－（＃）
			総量 210 g ai/ha 畦間土壌散布	2	1	圃場F：＜0.02/－（＃）
			総量 210 g ai/ha 畦間土壌散布		1	圃場G：0.03/－（＃）
ブルーベリー （果実）	6	51%顆粒水和剤	総量 450 g ai/ha 土壌表面散布	1	99	圃場A：＜0.02/－
			総量 890 g ai/ha 土壌表面散布	2	6	圃場B：＜0.02/－（＃）
			総量 830 g ai/ha 土壌表面散布		6	圃場C：＜0.02/－（＃）
			総量 880 g ai/ha 土壌表面散布		8	圃場D：＜0.02/－
			総量 890 g ai/ha 土壌表面散布		8	圃場E：＜0.02/－
			総量 890 g ai/ha 土壌表面散布		7	圃場F：＜0.02/－
綿実 （種実）	13	51%顆粒水和剤	総量 224 g ai/ha 散布	2	62	圃場A：＜0.01/－（＃）
			総量 214 g ai/ha 散布		60	圃場B：＜0.01/－（＃）
			総量 213 g ai/ha 散布		61	圃場C：＜0.01/－（＃）
			総量 213 g ai/ha 散布		60	圃場D：＜0.01/－（＃）
			総量 216 g ai/ha 散布		60	圃場E：＜0.01/－（＃）
			総量 214 g ai/ha 散布		61	圃場F：0.01/－（＃）
			総量 213 g ai/ha 散布		62	圃場G：＜0.01/－（＃）
			総量 212 g ai/ha 散布		60	圃場H：＜0.01/－（＃）
			総量 213 g ai/ha 散布		60	圃場I：＜0.01/－（＃）
			総量 211 g ai/ha 散布		60	圃場J：0.01/－（＃）
			総量 221 g ai/ha 散布		62	圃場K：＜0.01/－（＃）
			総量 211 g ai/ha 散布		59	圃場L：＜0.01/－（＃）
			総量 214 g ai/ha 散布		59	圃場M：＜0.01/－（＃）

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量（ppm） ^{注1)} 【フルミオキサジン本体/代謝物M20】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
アーモンド （果実）	5	51%顆粒水和剤	<i>総量 844 g ai/ha 土壌表面散布</i>	<u>2</u>	<u>60</u>	圃場A：<0.01/-（#）
			<i>総量 849 g ai/ha 土壌表面散布</i>		<u>60</u>	圃場B：<0.01/-（#）
			<i>総量 836 g ai/ha 土壌表面散布</i>		<u>60</u>	圃場C：<0.01/-（#）
			<i>総量 842 g ai/ha 土壌表面散布</i>		<u>60</u>	圃場D：<0.01/-（#）
			<i>総量 840 g ai/ha 土壌表面散布</i>		61	圃場E：<0.01/-
ホップ （乾花）	1	51%顆粒水和剤	<i>総量 827 g ai/ha 散布</i>	2	30	圃場A：0.04/-（#）
ホップ （乾花）	1	51%顆粒水和剤	<i>総量 817 g ai/ha 散布</i>	2	28	圃場A：<0.02/-（#）
ホップ （乾花）	1	51%顆粒水和剤	<i>総量 906 g ai/ha 散布</i>	2	28	圃場A：<0.02/-（#）

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

注2)（#）印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米)		0.05				
小麦	0.4	0.05			0.4 米国	【0.01-0.31(n=20)(米国)】
大麦		0.05				
ライ麦		0.05				
とうもろこし	0.02	0.05			0.02 米国	【<0.02(n=21)(米国)】
そば		0.05				
その他の穀類		0.05				
大豆	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005
小豆類	0.07	0.1	○		0.07 米国	【<0.02-0.05(n=11)(米国)】
えんどう	0.07	0.1			0.07 米国	【<0.02-0.06(n=13)(米国)】
そら豆	0.07	0.1			0.07 米国	【米国小豆類、えんどう参照】
らっかせい	0.02	0.02				
その他の豆類	0.07	0.1			0.07 米国	【米国小豆類、えんどう参照】
ばれいしょ	0.02	0.02			0.02 米国	【<0.02(n=14)(米国)】
さといも類(やつがしらを含む)	0.02	0.02			0.02 米国	【米国ばれいしょ参照】
かんしょ	0.02	0.02			0.02 米国	【米国ばれいしょ参照】
やまいも(長いものをいう)	0.02	0.02			0.02 米国	【米国ばれいしょ参照】
その他のいも類	0.02	0.02			0.02 米国	【米国ばれいしょ参照】
さとうきび	0.2	0.2			0.2 米国	【<0.02-0.09(n=9)(米国)】
たまねぎ	0.02	0.02			0.02 米国	【<0.02(n=9)(米国)】
にんにく	0.02	0.02			0.02 米国	【米国たまねぎ参照】
その他のうり科野菜		0.02				
しょうが	0.02	0.02			0.02 米国	【米国ばれいしょ参照】
えだまめ	0.05		申			<0.01,<0.01
その他の野菜		0.04				
みかん	0.1	0.1	○			
なつみかんの果実全体	0.1	0.1	○			
レモン	0.1	0.1	○			
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	0.1	0.1	○			
グレープフルーツ	0.1	0.1	○			
ライム	0.1	0.1	○			
その他のかんきつ類果実	0.1	0.1	○			
りんご	0.1	0.1	○			
日本なし	0.1	0.1	○			
西洋なし	0.1	0.1	○			
マルメロ	0.02	0.1			0.02 米国	【<0.02(n=12)(りんご)(米国)、 <0.02(n=6)(なし)(米国)参照】
ネクタリン	0.02	0.1			0.02 米国	【米国プルーン、チェリー参照】
あんず(アブリコットを含む)	0.02	0.1			0.02 米国	【米国プルーン、チェリー参照】
すもも(プルーンを含む)	0.02	0.1			0.02 米国	【<0.02(n=6)(米国)】
うめ		0.1				
おうとう(チェリーを含む)	0.02	0.1			0.02 米国	【<0.02(n=6)(米国)】
いちご	0.07	0.1			0.07 米国	【<0.02-0.04(n=8)(米国)】
ラズベリー		0.1				
ブラックベリー		0.1				
ブルーベリー	0.02	0.1			0.02 米国	【<0.02(n=6)(米国)】
クランベリー	0.02	0.1			0.02 米国	【米国ブルーベリー参照】
ハックルベリー	0.02	0.1			0.02 米国	【米国ブルーベリー参照】
その他のベリー類果実	0.02	0.1			0.02 米国	【米国ブルーベリー参照】
ぶどう	0.1	0.1	○			
かき		0.1				
バナナ		0.1				
パパイア		0.1				
アボカド		0.1				
パイナップル		0.1				
グアバ		0.1				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
マンゴー		0.1				
パッションフルーツ		0.1				
なつめやし		0.1				
その他の果実		0.1				
綿実	0.02	0.06			0.02 米国	【<0.01-0.01(n=13)(米国)】
なたね		0.1				
アーモンド	0.02	0.02			0.02 米国	【<0.01(n=5)(米国)】
ホップ	0.05		IT		0.05 米国	【0.032,<0.02,<0.02(米国)】
その他のスパイス	0.1	0.1	○			<0.02(#),<0.02(#)(みかんの果皮)
その他のハーブ		0.04				
牛の筋肉		0.01				
豚の筋肉		0.01				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉		0.01				
牛の脂肪		0.01				
豚の脂肪		0.01				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪		0.01				
牛の肝臓		0.01				
豚の肝臓		0.01				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓		0.01				
牛の腎臓		0.01				
豚の腎臓		0.01				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓		0.01				
牛の食用部分		0.01				
豚の食用部分		0.01				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分		0.01				
乳		0.01				
鶏の筋肉		0.01				
その他の家さんの筋肉		0.01				
鶏の脂肪		0.01				
その他の家さんの脂肪		0.01				
鶏の肝臓		0.01				
その他の家さんの肝臓		0.01				
鶏の腎臓		0.01				
その他の家さんの腎臓		0.01				
鶏の食用部分		0.01				
その他の家さんの食用部分		0.01				
鶏の卵		0.01				
その他の家さんの卵		0.01				

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

フルミオキサジン推定摂取量（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
小麦	0.4	23.9	17.7	27.6	20.0
とうもろこし	0.02	0.1	0.1	0.1	0.1
大豆	0.02	0.8	0.4	0.6	0.9
小豆類	0.07	0.2	0.1	0.1	0.3
えんどう	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.07	0.0	0.0	0.1	0.1
らっかせい	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.02	0.8	0.7	0.8	0.7
さといも類（やつがしらを含む）	0.02	0.1	0.0	0.0	0.2
かんしょ	0.02	0.1	0.1	0.2	0.2
やまいも（長いものをいう）	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のいも類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
さとうきび	0.2	19.6	16.7	24.8	20.0
たまねぎ	0.02	0.6	0.5	0.7	0.6
にんにく	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
しょうが	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.05	0.1	0.1	0.0	0.1
みかん	0.1	1.8	1.6	0.1	2.6
なつみかんの果実全体	0.1	0.1	0.1	0.5	0.2
レモン	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
オレンジ（ネーブルオレンジを含む）	0.1	0.7	1.5	1.3	0.4
グレープフルーツ	0.1	0.4	0.2	0.9	0.4
ライム	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	0.1	0.6	0.3	0.3	1.0
りんご	0.1	2.4	3.1	1.9	3.2
日本なし	0.1	0.6	0.3	0.9	0.8
西洋なし	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
マルメロ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ネクタリン	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず（アプリコットを含む）	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
すもも（プルーンを含む）	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
おうとう（チェリーを含む）	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
いちご	0.07	0.4	0.5	0.4	0.4
ブルーベリー	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
クランベリー	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ぶどう	0.1	0.9	0.8	2.0	0.9
綿実	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
計		54.6	45.0	63.4	53.4
ADI比（％）		5.5	15.2	6.0	5.3

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）

(参考)

これまでの経緯

平成12年	4月28日	初回農薬登録
平成15年	7月1日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成15年	9月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成20年	6月17日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	10月19日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請の連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：えだまめ）
平成23年	11月15日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年	9月18日	インポートトレランス申請（ホップ）
平成26年	5月20日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成26年	12月15日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成26年	12月24日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成27年	6月3日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当部長
○大野 泰雄	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐々木 一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
佐野 元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村 睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部環境事業推進部長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授
鰐渕 英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○：部会長)

答申

フルミオキサジン

食品名	残留基準値	
	ppm	
小麦	0.4	
とうもろこし	0.02	
大豆	0.02	注1) いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイ豆、ライマ豆及びレンズを含む。
小豆類 ^{注1)}	0.07	
えんどう	0.07	
そら豆	0.07	
らっかせい	0.02	
その他の豆類 ^{注2)}	0.07	注2) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
ばれいしょ	0.02	
さといも類(やつがしらを含む。)	0.02	
かんしょ	0.02	
やまいも(長いものをいう。)	0.02	
その他のいも類 ^{注3)}	0.02	注3) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類、かんしょ、やまいも及びこんにゃくいも以外のものをいう。
さとうきび	0.2	
たまねぎ	0.02	
にんにく	0.02	
しょうが	0.02	
えだまめ	0.05	注4) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
みかん	0.1	
なつみかんの果実全体	0.1	
レモン	0.1	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.1	
グレープフルーツ	0.1	
ライム	0.1	
その他のかんきつ類果実 ^{注4)}	0.1	
りんご	0.1	
日本なし	0.1	
西洋なし	0.1	
マルメロ	0.02	
ネクタリン	0.02	
あんず(アプリコットを含む。)	0.02	
すもも(プルーンを含む。)	0.02	
おうとう(チェリーを含む。)	0.02	
いちご	0.07	注5) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
ブルーベリー	0.02	
クランベリー	0.02	
ハックルベリー	0.02	
その他のベリー類果実 ^{注5)}	0.02	
ぶどう	0.1	注6) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
綿実	0.02	
アーモンド	0.02	
ホップ	0.05	
その他のスパイス ^{注6)}	0.1	